(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2　内　容

A　表　現

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 歌唱

歌唱に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，個性豊かに歌唱表現を創意工夫すること。

イ　次の(ｱ)から(ｳ)までについて理解すること。

(ｱ) 曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果

(ｲ) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果

(ｳ) 様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性

ウ　創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，次の(ｱ)から(ｳ)までの技能を身に付けること。

(ｱ) 曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能

(ｲ) 他者との調和を意識して歌う技能

(ｳ) 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能

(2) 器楽

器楽に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，個性豊かに器楽表現を創意工夫すること。

イ　次の(ｱ)から(ｳ)までについて理解すること。

(ｱ) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果

(ｲ) 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果

(ｳ) 様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性

ウ　創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，次の(ｱ)から(ｳ)までの技能を身に付けること。

(ｱ) 曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能

(ｲ) 他者との調和を意識して演奏する技能

(ｳ) 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能

(3) 創作

創作に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，個性豊かに創作表現を創意工夫すること。

イ　音素材，音を連ねたり重ねたりしたときの響き，音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解を深めること。

ウ　創意工夫を生かした創作表現をするために必要な，次の(ｱ)から(ｳ)までの技能を身に付けること。

(ｱ) 反復，変化，対照などの手法を活用して音楽をつくる技能

(ｲ) 旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能

(ｳ) 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ，変奏や編曲をする技能

B　鑑　賞

鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら，次の(ｱ)から(ｳ)までについて考え，音楽のよさや美しさを深く味わって聴くこと。

(ｱ) 曲や演奏に対する評価とその根拠

(ｲ) 自分や社会にとっての音楽の意味や価値

(ｳ) 音楽表現の共通性や固有性

イ　次の(ｱ)から(ｳ)までについて理解を深めること。

(ｱ) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり

(ｲ) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わり

(ｳ) 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴

〔共通事項〕

表現及び鑑賞の学習において共通に必要となる資質・能力を次のとおり育